

大森学園高等学校 普通科

第1回 2月10日

令和2年度 入学試験問題

国語

注意

- 1 指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙にも受験番号を算用数字で記入しなさい。
- 3 試験時間は50分です。
- 4 問題は一から三までで1ページから15ページにわたって印刷してあります。
- 5 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 6 解答はHB以上の濃い鉛筆で、はっきりと書きなさい。
- 7 解答用紙と問題用紙は別々に提出しなさい。

受験番号

一、次の文章を読んで後の問に答えなさい。

私たちが持つていろいろな性質や資格は、大きく分けると二種になる。一つは年齢、性別、階級社会における身分のように生得的なもの、(a) 当事者の意志による選択の余地がない与えられたものである。もう一つは、自分の力で手に入れた獲得的なものであり、当事者の意志による選択にかかわるものである。人間関係の領域でこれを考えてみると、血のつながりの関係は生得的であり、約束や契約で結ばれる関係は獲得的なものといえよう。

ところが文化や社会のしくみが違うと、人々がこの二種の資格のどちらに大きな価値を認めるかも違ってくる。終身コヨウ、年功序列、男尊女卑の傾向が今でも認められる日本は、生得的な資格により大きな価値を認める社会であり、アメリカのように、個人の能力、職業、そして貧富の差まで獲得的なものと考えられる社会とよく対比させられる。

しかし生得的なものとは獲得的なものとは、性別、年齢のような客観的裏付けを持ったものは別として、実際にはある社会の人々の解釈の結果である場合が少なくない。つまりある人間の性質、状態をどちらに組入れるかは、実際に調べてみなければ分からないのである。

(b) 次に日本人は、生得的な性質と関連した役割と、獲得的条件に裏付けられた役割のどちらを重視するかという点を、二、三の言語的事実から考えてみることにしたい。

現在日本では夫婦がお互いをパパ、ママあるいはおとうさん、おかあさんのように呼び合うことが圧倒的に多い。ところが新婚当時はお互いを名前で呼んだという夫婦もかなりある。特に夫だけが妻を名前で呼び、妻は夫を「あなた」のような代名詞だけで呼ぶケースは極く普通である。(c)、このような夫婦に子供が生れると、直ちに相互のコシヨウが、殆どパパ、ママ、とうさん、かあさんに変わってしまう。これはどう解釈すべきだろうか。

結婚して夫婦になった男女は、一種の契約にもとづく関係に入ったと考えることができる。夫の役割、妻の役割とは両者が【 A 役割であるが故に、半ば意識的に演じられることを必要とする。したがって子供が生れる迄の夫婦だけの結婚状態は、一種の緊張にも似た不安定さをナイゾウしていると考えられる。

ところが子供が生れると、夫は子の父となり、妻は子の母となるわけだ。この父や母という役割はもはや選びとり演じる役割ではなく与えられた役割である。一度ある人間の父となり母となった人は、(d) 自分の意志でこの関係を解消することはできない。親

と子の関係は少なくとも日本人にとって意志の介入する余地がないだけに、夫と妻の関係よりも安定度が高いものと感じられる。そこで夫婦は、お互いのそれまでの横の関係を、共通の子供を規準とした縦の^{注1}関係、つまり、お互いに同一の子供の父であり母であるという【 B 】関係に組直し見直すことで、永続的な安定状態に入ろうとする。この心理の変化が、相互のコシヨウが父、母の概念を含むタイプへと変わることと反映されていると考えることはできないだろうか。

(e) この解釈が正しいとすれば、日本の夫婦は互いに夫であり妻であるとして行動するよりも、子供の父として母として行動することが多くなければならないが、事実日本の夫婦をアメリカの夫婦などと比べると、日本の結婚した男女は、夫であり妻であるよりも遥かに父として母として行動することが多いと思う。

アメリカの社会では与えられる役割、自分の意志が選択に加わらなかった役割よりも、自ら選びとった役割に重点を置くとされるが、夫婦は日本人の私たちから見れば驚くほど【 C 】。

彼等の結婚はそもそも指輪という相互の拘束のシンボルを交換することから始まり、夫婦関係を保持するため、絶えず非常な努力を払っている。常に愛情を表わすことばを交わしたり、誕生日、結婚記念日に夫婦の間で贈物をしたりすることは、結婚という契約状態を再確認し強化するための一種の儀礼(リチュアル)に他ならない。従ってこのような明示的な愛情表現を忘れたり、程度が減少したりすれば、それは直ちに結婚状態の破局を意味することになる。

日本人の夫婦は殆ど明示的な愛情表現をしないし、社会的に定型化された英語の^{注2} honey, darling のような、社会人類学者のいう saccharine term (甘いことば)も持っていない。これは日本人にとって結婚状態とは、絶えず相互の愛情を確認しながら保持していく、^{注3}ダイナミックな直接的で契約的な人間関係ではなく、(f) 否定したり解消したりすることが原理的に不可能である親子関係という^{注4}スタティックで不変の関係を介した、それ自体すでに与えられた人間関係として把握されているのではないだろうか。

(鈴木孝夫『ことばと文化』)

注1 規準・・・よりどころ。心の支え。

注2 honey, darling・・・ともに夫婦間の愛称。

注3 ダイナミックな・・・動的な

注4 スタティックで・・・静的で

問1

(a) ・ (b) ・ (c) ・ (d) ・ (e) ・ (f) に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを次の中から選んで、その記号を解答欄にマークしなさい。解答番号は①。

- | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|---|-----|---|------|---|------|---|-----|---|------|
| ア a | したがって | b | さらに | c | ただ | d | まったく | e | たとえ | f | そもそも |
| イ a | つまり | b | そこで | c | ところが | d | もはや | e | もし | f | むしろ |
| ウ a | すなわち | b | よって | c | それから | d | 決して | e | そして | f | 全く |
| エ a | そして | b | さて | c | しかし | d | もう | e | 仮に | f | 逆に |

問2

~~~~線部「より」の品詞名として適当なものを次の中から選んで、その記号を解答欄マークにしなさい。解答番号は②。

- ア 助詞    イ 動詞    ウ 接続詞    エ 副詞    オ 名詞

問3

【 A 】 ・ 【 B 】 に入る表現として適当なものを次の中から選んで、それぞれ解答欄にマークしなさい。解答番号は、Aが③、Bが④。

- |   |         |   |       |   |       |   |       |
|---|---------|---|-------|---|-------|---|-------|
| A | ア 与え合った | イ | 分担する  | ウ | 協力し合う | エ | 選びとった |
| B | ア 勝ちとった | イ | 逃れられる | ウ | 与えられた | エ | 演じられた |

問4

~~~~線部①「客観的裏付けを持ったもの」とあるが、これに該当する適当なものを次の中から選んで、その記号を解答欄にマークしなさい。解答番号は⑤。

- ア 血縁 イ 能力 ウ 学力 エ 地縁 オ 地位

問5

——線部②「相互のコシヨウが、殆どパパ、ママ、とうさん、かあさんに変わってしまう」とあるが、筆者の考えるその理由を説明したものと最も適当なものを次の中から選んで、その記号を解答欄にマークしなさい。解答番号は⑥。

- ア 父、母の概念を含むよび方に変えることで、不安定な夫婦関係を永く安定的に維持できると考えているから。
- イ 父、母の概念を含むよび方に変えると、不安定な夫婦関係が子供の力によって改善されると思っているから。
- ウ 子供の立場からのよび方に変えることで、夫も妻も相互に関係を維持する必要があるという錯覚に陥るから。
- エ 子供の立場からのよび方に変えると、家庭に一体感が生まれて夫婦関係も長らく安定すると信じているから。

問6

——線部③「横の関係」とあるが、その説明として最も適当なものを次の中から選んで、その記号を解答欄にマークしなさい。解答番号は⑦。

- ア 関係性が安定してはいても、ある程度は相互に自己の意志を抑えなければ維持していけない油断禁物の家族関係。
- イ 関係性が安定しているからこそ、ある程度は相互に自己の意志を抑えなければ保つことができなくなる夫婦関係。
- ウ 関係性が安定しないからこそ、相互に自己の正直な思いを率直に伝えつつ保っていかなければならない家族関係。
- エ 関係性が安定しないがために、相互に配慮しながら自己の意志も抑えつつ保っていかなければならない夫婦関係。

問7

筆者の主張を記したものと最も適当なものを次の中から選んで、その記号を解答欄にマークしなさい。解答番号は⑧。

- ア 夫婦相互のよび方が、自己の子供の視点からのものから、関係の解消が不能な夫婦同士の視点からのものに変化するという事実は、日本人が生得的な夫婦関係を重視する傾向が強いことを暗示している。
- イ 夫婦相互のよび方が、自己の子供の視点からのものから、関係の解消が不能な夫婦同士の視点からのものに変化するという事実は、日本人が獲得的な夫婦関係を重視する傾向が強いことを暗示している。

ウ 夫婦相互のよび方が、自己の視点からのものから、関係の解消が不能な自己の子供の視点からのものに変化するという事実は、やはり日本人には与えられた役割を重視する傾向が強いことを示している。

エ 夫婦相互のよび方が、自己の視点からのものから、関係の解消が不能な自己の子供の視点からのものに変化するという事実は、やはり日本人には選びとった役割を維持する自信がないことを示している。

問8 〔 C 〕に入る表現を本文後半から八字で抜き出し、解答欄に記入しなさい。

問9 〳〵線部④「明示的な愛情表現」とあるが、アメリカ人夫婦がこれを怠らないのはなぜだと考えられるか。「役割」という語を必ず用いて解答欄に三十字以内で答えなさい。

問10 〳〵線部①「コヨウ」・②「ナイゾウ」・③「コシヨウ」を漢字に直して解答欄に記入しなさい。

二、次の文章を読んで後の問に答えなさい。

しず子は学校の帰り道でいろいろ考えた。これは父に話したものでしょうか。父に話したら、弟はまた、どんなにしかられることだろう。そうかと言って、話さずにおけるわけのものではなし・・・彼女は全く、とほうにくれてしまった。

先生の話のとおりなら、実際、自分にしたって、やはり義夫に疑いをかけないわけにはいかない。それにしても、うちから持たしてやったものをそのまま出さないで、なんだって金額をふやしたのだろう。まさか人のものを盗んでまで、寄付金の額をふやそうとするような弟ではないと思うが、先生から注意されたように、これは何よりもまず、弟の小づかいを調べることが急務だと、思った。

彼女はうちに帰ると、さっそく弟の机の引きだしをあけて見た。ガマ口^{注1}は、はいついていなかった。心あたりのところを探したけれども、どこにもそれは見つからなかった。

義夫は学校から帰ると、ランドセルをほうり出して、すぐに外へ遊びに行ってしまったらしい。

彼女は暗い気もちになった。弟はほんとうに盗みをしたのだろうか。しばらくたって、義夫は裏ぐちからこっそり帰ってきた。

「どこへ行ってたの、義ちゃん」

「どこへ行ってたって、いいじゃないか」

「まあ、なんて口のきき方です。もう少し静かにおっしゃい」

義夫は返事をしないで、自分の机のほうへ行きかけた。

「義ちゃん、ちよつと、．．．少しお話があるの」

「．．．」

「義ちゃん、ガマ口、そこに持つてる？」

「．．．」

「お小づかい、ちよつと見せてもらいたいんだけど．．．」

「小づかいなんてないよ．．．」

「ないって、なんに使ってしまったの」

「なんに使ったって、いいじゃないか」

「いいえ、よくありませんよ。あたし、少し聞きたいことがあるの」

「自分の小づかい、なんに使ったっていいじゃないか」

「いいえ、むやみなものに使っちゃいけません。そういうものを使うために、お小づかいあげているんじゃないやありませんもの。．．．」

．．．^{注2} 科学グラフお買いになったの」

「．．．」

「きのうの朝、そんなこと言っていましたね。そうじゃないんですか．．．」

「．．．」

「義ちゃん、どうして黙っているの．．．」

「．．．」

「なんに使ったって、聞いているんです。お返事をなさい。それから、今、残りがいくらあるんです」
「残りなんかないよ」

「科学グラフ三十銭でしょう。今月は四十銭ですか。でも、まだ残りがあるでしょう」

「うるさいな。残りなんかなくて言ったら……」

「それならなんに使ったんです。義ちゃん、ほんとうのことを言ってください」

「……」

「あなた、学校で何かあったんじゃないんですか……」

「……」

「義ちゃん、ねえさん、きょう学校に呼ばれたのよ」

「そんなこと知ってらあい」

「知っているんなら、言ってください。ねえさん、ずいぶん困ってしまったのよ。あなた、何かしたんでしょう。それをみんな話してちょうだい。ねえさんなら、けつしてだれにも言いやあしないから、隠さずに話してちょうだい。ね、ほんとうのことを、……」
ありのままのことを言ってみよう

ねえさんも、やっぱり先生とおんなじようなことを言う、と義夫は思った。「隠さずにほんとうのことを言え」なんて。先生やねえさんが言う、ほんとうのことっていうのは、よくに盗んだって言わせようとしているんじゃないか。はじめっからそう考えて、よくそこへ引っぱってこうとしているんじゃないか。バカにしてやがる。いつ、よくが悪いことをした。先生やねえさんがそんなふうを考えているんなら、おれはもう口なんかきかない。返事なんかするもんか。畜生、^①だれがほんとうのことなんか言うもんかい

義夫はえこじ^②になって、なんにも言わないものだから、姉は一層心配してしまった。返事ができないくらいなら、やっぱり、あれはほんとうなのかもしれない。……弟にこんなことが起こるなんて、と思うと、いま縁談のある【^①先だけに、彼女は二重に悲しかった。

場あいによつたら、父には話さないで、……とさえ、しず子は思っていたのだが、これではとてもそんなわけにはいかなかった。^①彼女は夕はんのあとで、父にきょうの事件をおど報告した。

守川義平は黙って娘の話を聞いていた。彼の目の前には、街頭で寄付を^③こうている小学生の姿が、いくどか^②往来した。

② やがて、彼は義夫を自分の前に呼んだ。そして、ことばすくなく、きのうの事を尋ねた。義夫はあい変わらず黙っていた。しかし、父の前に出ると、姉と話しているようなわけにはいかなかった。彼が黙っていると、おとうさんも黙って、じいっと彼の顔を見つめているので、彼は何かしら重たい圧力を感じだした。やっぱり、おとうさんにはかなわない、という気持ちだった。やがて……そうだ、おとうさんなら、話してやれ、という気になった。

彼はきのう学校へ行く途中のことから、清作に十銭やったことまで、順々に話していった。事件をぶった切って、突然あのことはどうだ、この事はどうだ、と聞かれると、そうひと口に言えることではないから、おどおどしてしまうが、順々に話すのなら、そんなに話しくいことはなかった。

父は一々うなずいて聞いていたが、

③ 「それにまちがいはないのだろうね」

と念を押した。

「ぼく、うそなんか言やあしないよ」

「それなら、なぜ先生の前で、それをはつきり言わなかったのだ」^④

「だって、ぼく、取らないのに取ったようなことを言われたから、しゃくにさわったんだ」^④

「そんならなお、言うのがあたりまえじゃないか」

義夫は下を向いてしまったが、目だけは父のほうをにらんでいた。

「それで、福見君にやった、小づかいの残りはいくらある」^⑤

「きょう、みんな使っちゃった」^⑥

「バカなやつだな。なんだって、そんなもったいないまねをするんだ。第一、そんなことをしてしまつては、おまえが盗んだんてな
いって証拠が、わからなくなってしまうじゃないか」

そう言われると、義夫もそうかなあ、という気がした。しかし、先生に疑われたりすると、持つてる小づかいなんか、みんな使つて
しまいたくなる。……

父はつづけた。

「そんなふうにもだづかいするんなら、もう小づかいはやらないぞ。……寄付金にしたって、うちから渡した通りのものを

出しさえすれば、先生に疑われるようなことはありはしないのに、つまらないまねをするから、こんなことになるのだ。……」
ほんとうのことを言えて言うから、ほんとうのことを言っていると、こんなふうにぶりぶりしかられるので、義夫は内心ひどく不平だった。

自分が十銭たしたって何が悪いんだ。だから、うちから十銭、自分から十銭、つごう二十銭にして出したんじゃないか。ぼくは人の金なんか取らないし、むだづかいもしない。科学グラフ買うのをやめて、寄付をしたのにおこられるなんて、つまらないや、と彼は思った。しかし、父の前ではとてもそんな事は言えなかった。

「よし！ それじゃ、とにかく、先生のところへ行ってくる」

父は立ちあがった。

「だって、夜分にあがってもいいんですか」

「しず子も引きずられるように立ちあがった。」

⑦「こんなこと、一時間だって、疑われたままでいるのは不愉快だ」

「だって、また、おからだか冷えたりすると……」

このごろでは漢方の薬がきいたとみえて、ほとんど発作はおこらないけれども、父は以前からゼンソク持ちなので、しず子はそれが心配だった。

「なあに、このくらい大丈夫だよ」

義平は用心のため冬のオーバーを着て出て行った。

(山本有三『真実一路』)

注1 ガマ口・・・小銭入れ。口がヒキガエルに似ていることからこの名がある。

注2 科学グラフ・・・科学系の読みもの。

注3 先生に疑われる・・・先生は、寄付金に入った封筒の文字が、「十銭」から義夫の文字で「二十銭」に書き換えられていたことから、十銭を義夫が盗んだのではないかと疑ったのである。

問1 「一」に入る一字の漢字として適当なものを次の中から選んで、その記号を解答欄にマークしなさい。解答番号は⑨。

ア 後 イ 手 ウ 目 エ 矢 オ 口

問2

~~~~線部①「むやみなもの」・②「えこじになって」・③「こうている」・④「しゃくにさわった」の文中での意味として適当なものを次の中から選んで、それぞれの記号を解答欄にマークしなさい。解答番号は、①が⑩、②が⑪、③が⑫、④が⑬。

- |   |                   |            |                  |                  |
|---|-------------------|------------|------------------|------------------|
| ① | ア  unnecessaryなもの | イ  高価なもの   | ウ  生活レベルの度を過ぎたもの | エ  安価なもの         |
| ② | ア  片意地を張って        | イ  根気強く    | ウ  すっかり気分を害して    | エ  深刻さを感じられなくなって |
| ③ | ア  集めている          | イ  呼びかけている | ウ  差し出している       | エ  切にお願いしている     |
| ④ | ア  悲しくなった         | イ  腹が立った   | ウ  興奮した          | エ  焦りを覚えた        |

問3

——線部①「彼女は夕はんのあとで、父にきょうの事件をおどおど報告した」とあるが、この時のしず子の内面の説明として最も適当なものを次の中から選んで、その記号を解答欄にマークしなさい。解答番号は⑭。

- ア 報告をすれば弟が叱責されるだけでなく、別居している母親の代わりに弟への責任を負っている自分にまで矛先が向けられると恐れ、父の表情の変化を細かく観察している状況。
- イ 厳しく叱責される弟を思うと報告するののためらわれ、仮に弟の悪事が明るみになると縁談が破談になることも免れないものだから、自分の将来を憂えて悲嘆に暮れている状況。
- ウ 報告をすれば弟が父親から叱責を受けるだけでなく、そこから弟の悪事が明らかになることで家族を取り巻く諸々が悪循環に陥るのではないかと、内心不安で落ち着かない状況。
- エ 弟が悪いことをしたと思込んで疑心暗鬼に陥り、父親に叱責されることを気の毒に思いながらも、結果的に自分の縁談を壊してしまうことになる弟を恨めしく思っている状況。

問4 主人公の状況や気持ちの推移を登場人物の人間性や行動と絡めて述べたものとして、最も適当なものを次の中から選んで、その記号を解答欄にマークしなさい。解答番号は15。

- ア 盗んだと疑われたことで姉や先生に憤慨していたが、公正で冷静な父親に話をすれば解決してもらえると信用して事実を話し始める。しかし公正さゆえに全てを信用してくれない父親にじれったさを感じている。
- イ 盗んだと疑われたことで姉の前では我を張り続けていたが、父親の無言の圧力に屈して時系列で事実を話し始める。しかし父親の叱責の仕方や言動の矛盾から不満が募り、しかもそれを晴らす術もない状況にある。
- ウ 疑り深い姉の前では真実を隠していたが、毅然とした意志をもつ父親には濡れ衣を晴らしてもらおうと事件の要点を自分から話し始める。しかし意外にも物分かりの悪い父親の対処の仕方に不平をこぼしている。
- エ 疑り深い姉の前では真実を話すことをためらっていたが、客観的な見方をする父親になら事態を打開してくれると信じて要点を話し始める。しかし父親の反応からは解決策が見出せないと察知して落胆している。

#### 問5

——線部③「それ」・④「それ」とあるが、両者に共通する指示内容として、推定され得る最も適当なものを次の中から選んで、その記号を解答欄にマークしなさい。解答番号は16。

- ア 登校中に貧しい家庭の清作に十銭を恵んで優越感を覚えたが、家からの寄付金の額が友達に比べて少ないと嘆かわしく思
- イ、科学グラフを買う予定で余分にもっていた小づかいから更に十銭加えて学校で先生に渡した、ということ。
- イ 登校中に寄付金の額について自分なりに考え、学校で自分の小づかいから十銭加えて二十銭の額にして先生に渡したが、清作が十銭無くしたことも気の毒になり、もう一度小づかいから十銭を出して彼に恵んでやった、ということ。
- ウ 登校中に寄付金の額が少ないことが気になったから、学校で小づかいから十銭を加えて二十銭にして満足したものの、先生から清作のお金を盗んだ犯人にされて不愉快になり、放課後に勢いから無駄遣いしてしまった、ということ。
- エ 登校中に正義感から寄付金の額を倍に増やそうと考え、学校で小づかいから十銭を加えて二十銭にして先生に渡したが、クラスで盗難があったことを知り、同様の正義感から被害者に小づかいの全部をあげてしまった、ということ。

問6 —— 線部⑤「小づかいの残り」・⑥「みんな使っちゃった」とあるが、義夫の小づかいの残りはいくらぐらいと考えるのが妥当か。次の中から最も適当なものを選んで、その記号を解答欄にマークしなさい。解答番号は17。

- ア 一錢程度      イ 二十錢程度      ウ 四十錢程度      エ 六十錢程度

問7 —— 線部②「やがて、彼は義夫を自分の前に呼んだ」から⑦「こんなこと、一時間だって、疑われたままでは不愉快だ」まででうかがわれる父親の守川義平の人物像についての説明として最も適当なものを次の中から選んで、その記号を解答欄にマークしなさい。解答番号は18。

- ア 感情を交えず論理的に思考し、家族にまで冷徹に接する父親。  
イ 不義を容赦せぬ厳格さと、優柔不断な面とが同居している父親。  
ウ やや軽薄なところもあるが、朗らかで息子思いの優しい父親。  
エ 物静かで沈着、真面目で潔癖なところもある息子思いの父親。

問8 本文後半部から脱落した次の一文を戻す箇所としてはどこが適当か。その箇所の直前の五字を抜き出し、解答欄に記入しなさい。  
(句読点は含まない)。

(脱落文) おとうさんは学校の寄付金は自分で出せて言ったじゃないか。

問9 —— 線部①「畜生」・②「往来」・③「発作」の読み方を平仮名で解答欄に記入しなさい。

三、次の文章をよく読んで後の問に答えなさい。

禽虫きんちゆうのたぐひ、【A】を知れるためし、これ多し。<sup>注1</sup>漢武帝、昆明池昆明池にあそび給ふに、一つの鯉こいの釣つりを含みて、死なむとするあり。帝、これを見て、人をしてときはなち給へり。その夜、帝の夢中に鯉来りて、悦びけり。次の日、池池に行幸し給ひけるに、昨日の鯉の、明月注5の珠を含みて、池の辺に置きて去りぬ。そののち、かの池のてうぎよをとどめられけり。<sup>注6</sup>隋侯、やぶれたる蛇を見て、葉をつけ、ていやす。蛇たすかりて去りぬ。のちに珠を含みて報ず。隋侯、珠をえて、家富み榮えけり。夜光の珠とて、その名くもりなし。しかのみならず、楊宝は黄雀の病をたすけて、その報いをうけ、孔愉は白亀の命を生けて、かの報いを得たり。<sup>注7</sup>わが朝には山陰中納言、筑紫へ下り給ひける道に、鵜飼の殺さむとしける亀を、買ひて放ちてけり。そののち、若君の二つばかりなるを具し給へるを、継母、乳母に心合せて、とりはづしたるあやまちのやうにて、海に落し入れつ。<sup>注8</sup>中納言、あさましと思ふほどに、放ちつる亀、その児を甲に乗せて、【B】のはた注9に置きたりければ、取り上げてけり。

『十訓抄』

注1 漢武帝・・・中国は前漢の皇帝。 注2 昆明池・・・武帝が長安に造らせた大きな池。

注3 釣・・・釣り針。 注4 行幸し給ひけるに・・・お出かけになったところ 注5 明月の珠・・・暗い夜でも明るく光り輝く宝玉。

注6 隋侯・・・中国は隋の時代の領主。 注7 筑紫・・・現在の九州地方。 注8 具し給へる・・・お連れになっていた

注9 はた・・・縁。一番外側の部分。

問1 本文を二つの段落に分けた場合、二段落はどこからか。最も適当なものを次の中から選んで、その記号を解答欄にマークしなさい。解答番号は19。

- ア 「漢武帝、昆明池に」から  
イ 「隋侯、やぶれたる蛇を見て」から  
ウ 「しかのみならず」から  
エ 「わが朝には山陰中納言」から

問2 【A】・【B】に入る漢字一字の組み合わせとして最も適当なものを次の中から選んで、その記号を解答欄にマークしなさい。答番号は20。

- ア A 情 B 海      イ A 恥 B 港      ウ A 道 B 岸      エ A 恩 B 舟

問3 ——線部①「てうぎよをとどめられけり」・②「わが朝には」の意味として最も適当なものを次の中から選んで、それぞれの記号を解答欄にマークしなさい。解答番号は、①が21、②が22。

- ① ア 感心な鯉を池にとどめて大切にした。      イ 人びとに魚釣りを禁じなされた。  
ウ 多くの稚魚を放流して大切に育てた。      エ 特別に鯉だけを大事になさった。
- ② ア 今日早朝から      イ その日の朝には  
ウ 我が国でも朝から      エ 我が日本では

問4 ——線部④「海に落し入れつ」とあるが、その経緯を説明した次の中から最も適当なものを選んで、その記号を解答欄にマークしなさい。解答番号は23。

- ア 中納言の後妻が若君の育ての親に促され、魔が差して若君をそつと海に放り込んだ。  
イ 中納言の後妻が若君の育ての親の口車に乗せられ、若君をこっそり海に放り込んだ。  
ウ 中納言の後妻と若君の育ての親が共謀して、過失を装って若君を海に落として入れた。  
エ 中納言の後妻と若君の育ての親が話に没頭し、過って若君を海に落としてしまった。



問5

本文には人間と動物たちの触れ合いの事例がいくつか記されているが、その説明として適当でないものを次の中から選んで、その記号を解答欄にマークしなさい。解答番号は24。

- ア 武帝が釣り針を引っかけた死になつていた鯉を助けると、その鯉が明月の宝玉をくわえて現れた。
- イ 隋侯が蛇のけがを治してやつたところ、その蛇が夜光の珠を持参したことで家が繁栄することになった。
- ウ 楊宝が黄雀の病気を治し、孔愉が白亀の命を救ってやると、雀と亀のそれぞれが明月の宝玉を持参した。
- エ 山陰中納言が殺されそうになつていた亀を助けると、その亀は中納言の息子の若君の命を救ってくれた。

問6

——線部③「とりはづしたるあやまちのやうにて」を現代仮名遣いに直して解答欄に記入しなさい。





## マークシート記入の注意

1. 下の記入例を見て正しく記入して下さい。記入例は、31-940番の場合です。  
文字欄に受験番号と氏名を記入し、受験番号のマーク欄に線をひいて下さい。

### 記入例

|                       |             | 受 験 番 号 |                          |                          |                          |                          |                          |                          |                          |
|-----------------------|-------------|---------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
|                       |             | 0       | 1                        | 2                        | 3                        | 4                        | 5                        | 6                        |                          |
| マ<br>ー<br>ク<br>入<br>欄 | 記<br>入<br>欄 | 普通科・国立  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|                       |             | 普通科・選抜  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|                       |             | 普通科・総進  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|                       |             | 普通科・英語  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|                       |             | 工業科     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|                       |             |         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|                       |             |         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|                       |             |         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|                       |             |         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|                       |             |         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 例                     | 文<br>字<br>欄 |         | <b>3</b>                 | <b>1</b>                 | <b>-</b>                 | <b>9</b>                 | <b>4</b>                 | <b>0</b>                 |                          |
|                       |             |         | 氏                        |                          |                          | 名                        |                          |                          |                          |
|                       |             |         | <b>大 森 太 郎</b>           |                          |                          |                          |                          |                          |                          |

### 2. 解答上の注意

- 実際に解答するのは、解答番号①～②4までです。
- 問題をよく読んで、解答群の中から、正しいと思う答えの記号を選びます。

例 次の熟語の読み方の正しい解答を選びなさい。

会 得 (ア. エトク    イ. アイトク    ウ. カイトク)

| 解答番号 | 文字欄          | 解 答 マ ー ク 欄                         |                          |                          |                          |                          |                          |                          |                          |                          |                          |
|------|--------------|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 記入例  | ( <b>ア</b> ) | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 1    | (    )       | <input type="checkbox"/>            | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2    | (    )       | <input type="checkbox"/>            | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3    | (    )       | <input type="checkbox"/>            | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4    | (    )       | <input type="checkbox"/>            | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

正しい答えは「ア」ですから、文字欄に (ア) と記入し、  
「解答マーク欄」に線をひきます。